

教育活動中間報告～学校アンケートより～

I 12月（2学期末）アンケート結果の傾向と分析

肯定率…「あてはまる」の評価を「概ね満足している」ととらえた割合。

※下段は（R5後期評価、R6前期評価）の数値

評価項目（太枠がR6指標とする項目）	児童(%)	保護者(%)	教職員(%)
1 学校が楽しい	48 (R5後62,前64)	24 (R5後51,前54)	37 (R5後75,前78)
2 みんなで何かをすることは楽しい	60 (R5後75,前74)	50 (R5後58,前63)	62 (R5後88,前89)
3 気持ちの良い挨拶をしている	45 (R5後58,前57)	17 (R5後21,前22)	25 (R5後38,前33)
4 自分にはよいところがあると思う (生活づくり)	44 (R5後55,前59)	23 (前24)	12 (前33)
5 自分から進んで友達の良いところを伝えた (生活づくり)	29 (前43)	10 (前20)	37 (前44)
6 授業で自分の考えを書いたり、話したりして 伝えている (学びづくり)	37 (R5後42,前38)	14 (R5後18,前19)	37 (R5後50,前56)
7 本を読むことが楽しいと感じる (学びづくり)	47 (R5後58,前54)	13 (R5後20,前20)	37 (R5後13,前44)
8 めあてに向かって運動することが楽しい (学びづくり)	54 (前64)	24 (前31)	62 (前33)
9 健康を意識した生活をしている (生活づくり「メディアコントロール」)	56 (R5後68,前60)	29 (R5後22,前29)	0 (前44)
10 信頼できる先生がいる	57 (R5後66,前66)	27 (R5後29,前34)	

II 今後の取組について

一人一人が輝く学校(子ども起点の教育「学校が楽しい」「笠原小のインクルーシブ教育」)

○生活づくり・「お互いの良さを認め合う子」の育成

互いの良さに気付き伝えるために、子ども同士で認め合いの言葉掛けをする場の充実を図っていきます。その際にどのような姿に対して言葉掛けが望ましいのか、教師と子どもが共に分かる「ほめる基準」を共有、視覚化していきます。人間関係づくりプログラムも活用し、嬉しい、楽しいと感じられるかわり方について体験する機会を設けていきます。

○学びづくり・「学びを楽しむ子」の育成

体験活動を取り入れた探究学習を中心に、学ぶ楽しさが感じられる環境を整えていきます。合わせて、学習習慣や自主学習に支えられた基礎学力の定着や、対話・協働学習の充実による話す・聞く力の育成を進めていきます。また、新しいシステムが導入された学校図書館を利用して、読書活動の充実も図っていきます。

○学びづくり・「心も体も元気な子」の育成

体力の向上を図り、運動の楽しさが分かるためにも、めあてをもって取り組むことに力を入れていきます。また、健康の日の指導を中心に、利用時間を考えたメディアコントロールの意識付けも引き続き行っていきます。給食がいろんな人のおかげで作られていることを知る食育も意識していきます。